

サイエンス アゴラ in KOBE

参加費
無料

神戸医療産業都市一般公開の特別企画として、科学と社会のこれからをともに考える対話イベント『サイエンスアゴラ in KOBE』を開催します。

今年のテーマは『科学・技術って誰のもの?』です。

～科学・技術って誰のもの?～

日時 2018年 **11月23日** **金祝**
10:00～12:00 (受付 9:30～)

会場 甲南大学 ポートアイランドキャンパス 7F
レクチャーホール
神戸市中央区港島南町7丁目1番20

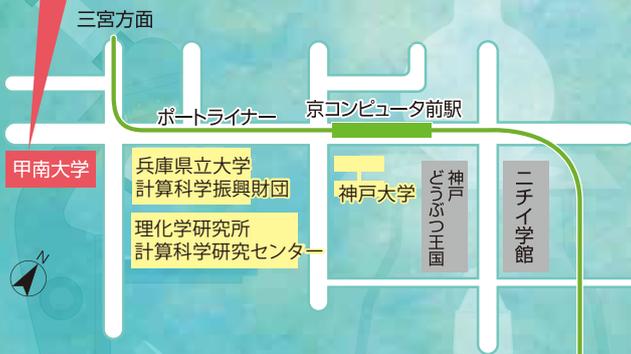


参加申し込み

こちらからお申し込みください

https://www.fbri-kobe.org/agora_kobe

甲南大学 ポートアイランドキャンパス 7F レクチャーホール



ポートライナー「三宮」駅から「神戸空港」行きに乗車
「京コンピュータ前」駅下車(乗車時間15分)西へ徒歩4分



あなたは科学や技術と関係ある人ですか?と聞かれて、みなさんはどう答えますか。未来を担う神戸の高校生と科学・技術の専門家と一緒に考えながら、科学と社会の未来像を炙り出せればと思います。

基調講演 **細胞がくっついたり離れたたり**
—組織の維持と崩壊のしくみ—

講演者 **竹市 雅俊**

国立研究開発法人理化学研究所
生命機能科学研究センター 高次構造形成研究チーム チームリーダー



トークセッション ～地元高校生を交えて～

登壇者 **竹市 雅俊**

池田 茂
甲南大学
理工学部
機能分子化学科
教授

堀 久美子
神戸大学大学院
システム情報学研究科
助教

高校生の
みなさん

兵庫県立神戸高等学校・
神戸市立六甲アイランド高等学校・
神戸大学附属中等教育学校・
甲南高等学校

ファシリテーター

本田 隆行
(科学コミュニケーター)



神戸医療産業都市・京コンピュータ一般公開 特別企画

サイエンスアゴラ

in KOBE

～科学・技術って誰のもの?～

サイエンスアゴラとは、東京・お台場で毎年開催される、誰もが参加できる日本最大級の科学フォーラムです。

また、あらゆる人に開かれた科学と社会をつなぐ広場の総称です。

この広場に集まる人たちが多様な価値観を認め合いながら、対話・協働を通じて、これからの「社会とともにある科学」と「科学とともにある社会」の実現を目指します。



科学・技術は、誰のためにあるのでしょうか。科学者のため?人類のため?社会のため?あなたのため? 科学・技術は専門家の中だけで閉じたものではなく、社会の中で様々な形で活用され、様々なシーンで活躍しています。あなたは、科学・技術をどのように活用し、発展させていきたいですか?

最先端研究を行う研究者と、高校生が一堂に会して、立場や世代を越えて科学と社会のこれからをともに考えます。皆さんも対話に加わって、一緒に考えてみませんか。

プログラム

基調講演

細胞がくっついたり離れたり —組織の維持と崩壊のしくみ

講演者 竹市 雅俊

国立研究開発法人理化学研究所
生命機能科学研究センター 高次構造形成研究チーム チームリーダー



10:00-10:30

私達の体は、莫大な数の細胞が整然と集まってできている。体から臓器の一部(組織)を取りだして細胞をバラバラにすることができるが、これを培養すると、細胞が再び集まり、時には、元通りの組織を再生することができる。細胞は、自発的にくっつき、組織を作ることができるのだ。しかし、この能力は癌になると失われ、組織を破壊してしまう。このような細胞の性質がどのようにコントロールされているのか、お話ししたい。

トークセッション

～地元高校生を交えて～

登壇者



前年度の様子

10:30-12:00

竹市 雅俊

池田 茂

甲南大学
理工学部
機能分子化学科
教授

堀 久美子

神戸大学大学院
システム情報学研究所
助教

高校生の
みなさん

兵庫県立神戸高等学校・
神戸市立六甲アイランド高等学校・
神戸大学附属中等教育学校・
甲南高等学校

太陽エネルギーをわれわれが利用できるエネルギー形態である電気や化学エネルギー(水素など)に変換するための材料およびデバイスの開発。

地球や惑星における磁場の生成メカニズムや構造の解明を念頭に、回転磁気流体力学の理論・シミュレーション研究を実施。